

## 5 広報相談に関する取組

若年層や子育て世代を対象に、財務省や金融庁の施策を、予算編成シミュレーションのグループワークや生活に役立つマネー講座など、分かりやすい形で情報発信しています。

# 家計と町の財政をつなげる学びのかたち

金融と財政を所掌する東北財務局の強みを生かし、金融経済教育と地方財政教育を結び付けて、生徒の理解を深める付加価値を加えることで、特色ある講座を展開。

## 概要

宮城県亘理町立吉田中学校から提案・要望があり、家計管理を学ぶ**金融経済教育講座**と、亘理町の財政を考える**地方財政教育プログラム**の実施に加えて、双方を結び付ける「**家計と町の財政の違い**」を考えるワークの授業を支援。

11月

金融経済教育講座  
「家計について考えよう！」



12月

家計と町の財政の違いを考えるワーク  
進行: 中学校教員 アドバイザー: 当局



1月

地方財政教育プログラム  
「亘理町長となって町の予算をつくらう！」

2月

町長への提言  
「未来の町長から現在の町長への提言」

学校・町・財務局の協働による  
**発展的取組**



収入		支出	
基本給(町税)	105,000円	食費(人件費)	75,000円
給手当	25,000円	医療費(扶助費)	70,000円
(財産収入、使用料、手数料など)		家のローン返済(公債費)	22,000円
親からの仕送り	210,000円	家の増改築など(投資的経費)	56,000円
(国庫支出金、地方交付税、交付金、国庫補助金など)		光熱水費や携帯電話代(物件費)	68,000円
貯金の取り崩し(繰入金)	24,000円	住宅や家電の修理費(維持補修費)	3,000円
銀行からの借入(地方債)	36,000円	学費、各種会費など(補助費など)	56,000円
		子どもへの仕送り(繰出金)	38,000円
		貯金(積立金)	10,000円
		その他	2,000円
	月計400,000円		月計400,000円

家計と財政の違いを考えるワークにて使用した「町の予算を家計に置き換えた資料」

【出典】広報わたり 令和7年4月号

## 取組の成果

### 生徒の気づき

自主財源の比率を  
高めていくことが必要だと思う。

### 財政理解の向上

町の財政は家計と違い、  
多くの町民の合意形成が  
必要なのだと思った。



【グループワークの様子】



【町長へ提言書を手交】

家計学習・財政シミュレーション・政策立案を一連の体系にすると・・・

- **生活実感**と結びつけて考えることにより、財政の理解を促進
- 自分たちが住む地域の財政状況及び地域課題をより**自分事化**
- 町の政策への理解がより深まり、**地域人材の育成**に寄与



# J-FLECとの共催による多様なニーズに応じた広報

財務局と金融経済教育推進機構(J-FLEC)との共催により、地域の要望に応じた子育て世代向けの広報を実施したものの。

## 概要

- 東海財務局では、各地の児童館等において子育て世代を対象に「日本の財政」と、基礎的な「資産形成」についての講座を実施。
- 一方、講演先からは、子ども向けの金融教育や、初心者から一歩進んだ初級者向けへの資産形成について講演を実施してほしいという要望がある。

- 多様なニーズに応えるため、今までの取り組みを発展させ、**財務局と金融経済教育を推進しているJ-FLECとの共同開催**とした。

## 取組の成果

- 講演先からの要望を踏まえ、財務局からの子育て世代向けの財政講演に加え、**小学校低学年向けの金融講演**を実施した。後半はJ-FLECの講師が対象年齢に特化した内容を担当し、親子で楽しく参加できる、満足度の高い講演となった。
- 託児付きの講演では、講演先からの要望を踏まえ、財務局による財政講演の後、J-FLECの講師による**初級者向けの資産形成講演**を実施した。将来に向けた資産運用の重要性について理解を深めてもらうことができた。

## 【参加者の声】

- 子供にはお金のことを知ってもらいたいと思っていたので、専門家の方から話してもらえてよかったです。
- 目の前の教育費で頭がいっぱいになっていましたが、老後の資金にも目を向けられてよかったです。



【小学校低学年を対象にした貯金箱づくり  
この他、おこづかい帳も提供】

オンライン受講可能 託児付

**気になる！子育てとお金の話**  
～ 税は子育てのミカタ～

「日本の財政・税金」や「NISA（少額投資非課税制度）」について解説します。将来の暮らしや家計の見通しを立てるヒントとして、気軽に学んでみましょう。

●日時：1/30(金)10:45～12:15

●対象：子育て中の保護者※同室不可

●講師：東海財務局 職員 及び  
金融経済教育推進機構(J-FLEC) 講師

●定員：会場20名(託児：12名) オンライン20名

●申込：12/1(月)～20(土)

# 教員等向け学習プラットフォームへの財政教育に関するコンテンツ提供

近畿財務局は、財政教育の担い手育成のため、教員生涯学習プラットフォーム「OZONE-EDU」へ財政教育に関するコンテンツを提供。

## 概要

- 近畿財務局は、令和6年10月、財政教育の担い手育成を目的に大阪教育大学と連携協定を締結。
- 協定に基づく取組の一環として、大阪教育大学と愛知教育大学が共同運営する教員生涯学習プラットフォーム「OZONE-EDU」へ**財政教育に関するコンテンツ「教員にも知ってほしい財政教育－概要編」**を提供。



【出典:OZONE-EDU】

## 取組の成果

- 公開後、約半年の間に数十名の教員が当該コンテンツを受講。
- 従来の財政教育の担い手の多くは財務省職員または財務局職員であるところ、当該コンテンツを受講した教員や教員を目指す学生に、財政教育を身近に感じてもらうことで、教員がより深度ある財政教育を展開できることを期待。
- 近畿財務局は、大阪教育大学と引き続き連携し、「OZONE-EDU」に追加コンテンツを公開することを計画。

財務省が実施する財政教育

**Q** なぜ、財務省が財政教育？

**A** 国民一人ひとりが**主体的に財政問題**を考えてもらうため

財務省では、国民への情報提供を通じて、施策に関する理解を深めることを目的として、広報活動に取り組んでいます。その中で、若年層の段階から財政に関心を持ち理解を深めてもらうことは、社会問題を自分事としてとらえるきっかけとしていただけるよう、財政教育を実施しております。

財政教育プログラムの特徴

**財政教育プログラムの特徴**

誰しそに見る日本の財政に興味を持ってもらおう

- 主体的・対話的で深い学び
- タブレット端末の活用
- 民主主義的プロセス
- 受益と負担のトレード・オフ

大阪教育大学 × 近畿財務局

【出典:OZONE-EDU】

# 多様な学びに応じた財政教育の推進

中学生による職場体験学習や特別支援学校での授業を実施。子どもたちが「財政」について学べる機会を拡大し、成長や特性に寄り添った教育を提供。

## 概要

### 職場体験 in 四国財務局



【庁舎見学(防災用ヘリポート)】

地域の中学生を財務局に受け入れ、庁舎見学や業務体験を実施。

防災拠点としての機能・設備を備えた「高松サンポート合同庁舎」見学ツアーのほか、予算づくり体験(**財政教育プログラム**)では、「未来のためにどんな国にしたいか」をテーマに生徒が予算案を作成。本物そっくりの記者会見会場で財務大臣になりきってもらい、記者役の職員との質疑応答を実施した。

### 特別支援学校で公開授業



【授業の様子(クイズタイム)】

特別支援学校に講師を派遣し、「財政」に関する出前授業(**財政教育プログラム**)を実施。

高等部の生徒の自立と社会参加を見据え、財政の問題を「自分事」として捉えるだけでなく、日常生活に必要な金銭感覚を身に付けてもらう授業を実施した。

## 取組の成果

### 財政教育 × 防災教育 × キャリア教育

次代を担う子どもたちに日本の財政に興味を持ってもらうことに加え、**防災への意識**を育てる教育。公務の現場や職員との触れ合いを通して、**勤労観や職業観**を育むことを支援。



【模擬記者会見に参加した中学生】



【インタビューに答える高等部の生徒】

### 財政教育 × インクルーシブ教育

すべての子どもが、障がいの有無にかかわらず、参加できる学びの場とし、社会の中で**互いの違いを理解し尊重する力**や**自分の役割を果たしていける力**を育むことを支援。

財務局の取組を地域にわかりやすく発信することにより、**財政教育のすそ野拡大**と社会全体の**多様性理解・共生社会の実現**を後押しする。

